

パルシステム神奈川 2026年度「お米の授業」ご案内

パルシステム神奈川では、毎年、小学5年生を対象とした「お米の授業」を展開しております。日本人にとって食の中心である「米」につきまして、産直を通じた生産者との交流が深い当組合ならではの知識と経験を活かした授業を行っておりますので、ご要望の際はご声掛けください。

◆概要

1. 目的

パルシステム神奈川では安全安心な食品の提供を中心に暮らしの中の「食」や「農業」の大切さを、事業・活動をとおして組合員や地域の皆様へ伝え広めています。特に子供の時期の食育体験は、大人になってもその人の「食」に対する考え方に大きく影響すると考えています。そこで小学校5年生の授業課題である「米づくり」や「田んぼ」の授業への支援を通して、「食」や「農業」の大切さを児童の皆さんに伝えていきます。

2. 「お米の授業」の内容

①5月下旬～6月中旬 座学・田植え 90分(45分×2)

主な内容	学校でご用意いただくもの
<p>パワーポイントを使用して、お米ができるまでの1年や、日本の米作りの現状を紹介します。</p> <p>座学後に、バケツや校内田んぼで田植えを一緒に行います。</p>	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター、スクリーン、HDMI ケーブル ※必要に応じてマイク <p>【田植え】</p> <ul style="list-style-type: none"> バケツまたは田んぼ ※授業の1週間くらい前に田起こし・代かき(土と水を入れて、よく混ぜておく)の作業を行ってください。 ※校内田んぼ・植える目安にするひも

※人数が多い場合は、上記時間内で終了しない場合がありますので、別途ご相談ください。



3~4月 ~苗作り・田んぼの準備~



米が作られている
都道府県は
いくつある？



②11月～12月 脱穀・もみすり 45～90分(45分×1～2)

主な内容	学校でご用意いただくもの
脱穀(実った稲から、もみを外す作業)と、もみすり(脱穀したもみから玄米を取り出す作業)を体験します。	脱穀:わりばし、牛乳パック もみすり:すり鉢、軟式野球ボール ※1人1個用意できない場合は、1グループに1個でも可 ※稲わら・もみ殻で汚れるので、新聞紙やブルーシートをご用意ください。

※稲刈りは各学校で行ってください。

※収穫量が多く時間内に終了しない場合、作業の続きは各学校で行ってください。



3. 苗の手配

「座学・田植え」の授業では、当組合で児童1名に1～2つ程度の苗を手配いたします。授業の際に持参または事前にお届けいたします。ご不要な場合は、お知らせください。

4. その他

上記の授業に関する費用(講師の交通費、苗代、資料代)のご請求はありません。

◆お申し込み締切は、2026年4月30日(木)です。

《お問い合わせ先》

生活協同組合パルシステム神奈川 組織運営部 産直交流課

メール:palkana-kouryuu@pal.or.jp

TEL:045-470-6863(月～金 9時～17時)

FAX:03-4570-5922

